

教科	公民	科目	公共	開講学期	通年	単位数	2	試験	前期・後期
タイプ	I	リポート数	6	スクーリング必要時数		2	スクーリング実施時数	10	
教科書(発行者)	公共(東京書籍)								
補助教材(発行者)	公共学習書(NHK出版)								

科目的目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働きかせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各國が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
---	--	---

評価の観点 及び その趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	・現代の諸課題にまつわる基礎的な概念や理論について理解している。 ・諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・現代社会の諸課題の解決に向けた考え方や人権や民主主義、立憲主義などの基本的原理を活用して、事実を基に多面的に考察することができる。 ・諸課題の解決に向けて考察したことを生かし公正に判断することができる。 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを表現することができる。	・現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度が身についている。 ・現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。 ・主権者意識をもって自国の平和と繁栄を図ることや各國が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。

単位認定	全リポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はリポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	リポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	「公共」のとびら	第1・2回	前期
	第2回	民主政治と法の働き	第3・4回	
	第3回	経済社会	第5回	
後期	第4回	職業生活・国際社会	第6・7回	後期
	第5回	国際平和と国際経済	第8回	
	第6回	持続可能な社会づくりへの参画(探究リポート)	第9・10回	